

令和6年度第2回大和村議会定例会  
 一般質問通告一覧(6月17日 月曜日 開催)

No.	I	市田 実孝	
質問事項			要旨
		<p>1. 集落内河川管理状況について</p> <p>2. 大和村内で携帯が不通な箇所は確認認識されているか。</p>	<p>1) 集落内中心部を流れる河川は、集落にて河川愛護作業などで定期的に草刈りなど整備なされてきたが、高齢化が進む中で雑木等目立っており、村内の道路・公園同様に定期的に作業管理していけないか。</p> <p>2) 集落内河川では旧態以前の石積がみられるが、河川ブロックによる改善計画はないのか。</p> <p>3) 石積は防災上安心安全と言えるのか。耐久性で問題ないか。</p> <p>1) 奄美温泉ハナハナビーチリゾートにて、携帯が困難な場所が確認されているが村として対応すべきではないか。</p> <p>2) 防災通知等避難指示で、雇用者安全対策で問題はないか。</p> <p>3) 村内他の箇所で、いまだに不通な場所は他確認されているのか。</p>

No.	2	中井 文忠		
質問事項			要旨	
1. 祝い金の設置について	<p>1) 人生、80年、90年という言葉をよく聞きますが、なかなか生きることの難しさを痛感しています。新聞等でよく見ますが、98歳、99歳というお年寄りの方がこの世を去っているのを見ます。私は一世紀を生き抜いた方への祝い金の設置をお願いしたい。</p>			
2. 大和村から住用町への横断道路の建設について	<p>1) 東回りは名瀬～住用へ、西回りは今里～住用へと、前から先輩議員や後輩議員からも質問があったと思われませんが、奄美市の方で地籍調査が進んでない事や、地主がわからない事で断念しています。 大和村～住用町への横断道路の建設を考えてみてはいかがでしょうか。</p>			

一般質問通告一覧(6月21日 金曜日 開催)

No.	3	重信 安男	
質問事項		要旨	
1. 人口減少対策として、これからの取組は。	1) 2050年に消滅自治体と言われていますが、当局は、どう受け止めておられるのか。  2) 移住者の受入として、雇用の場と住居が必要ですが、今後の対策を示していただきたい。  3) 行政の中で村外に住まわれている職員をどう思われるか。  4) 住民受入れのため空き家対策を行っていますが、現在の助成以外に、家財道具処分費の助成はできないか。		

No.	4	前田 清和	
質問事項			要旨
	<p>1. 生活環境整備促進を図る上で</p> <p>2. 農業振興について</p>		<p>1) 廃屋・空き家に関する事項</p> <p>①廃屋・空き家、解体・改修助成金事業の令和5年度の実績は</p> <p>②廃屋の解体事業が思うよう進捗していないように感じるが、令和6年度の取組はどうお考えなのか</p> <p>2) 住環境及び自然景観保全の上から、村内一円、月に一度の美化活動日を設けたらどうか</p> <p>1) 若手農業従事者育成についての取り組みは</p> <p>2) 耕作放棄地解消の一つとして、集落有志による集落農園はできないか</p>

No.	5	勝山 浩平	
質問事項			要旨
1.	大学等と連携した農林水産資源の機能性を活かした利活用と大学生等と子ども達との交流を求めて		1) 人材育成や地域活性化を主目的とする東京農工大学大学院との包括連携協定締結式の中で、教授陣から果物の摘果品の活用や大学生と子ども達との交流などの提案があったが、今後、この包括連携のもと、具体的にどのような取り組みを展開していくのか。
2.	商店が無い集落への買い物支援と既存商店の経営維持支援を求めて		1) 特に商店が無い集落では、日常生活で食料品などの買い物に不便を感じている「買い物弱者」が存在し、また、今後、免許返納や健康面に不安がある高齢者が「買い物弱者」となる可能性が高いが、必要な支援策の具体化を図っていくべきではないか。  2) 集落の商店は住民交流の場でもあり、万が一の災害時には食料や日用雑貨の備蓄機能を有することにもなる。現在、電気代など物価高騰のあおりを受け、厳しい経営状況を強いられているが、商店の維持存続のために支援策を講じるべきではないか。
3.	危険な廃屋の解体撤去推進を求めて		1) 放置された状態の空き家は、老朽化による倒壊や景観の悪化などの悪影響を地域に及ぼす恐れが高く、対策が急がれるが、昨年12月に改正された空き家対策特別措置法を活用し、撤去の指導・勧告や固定資産税の優遇措置の解除など行政主導で対策を講じるべきではないか。

No.	6	奥田 忠廣	
質問事項			要旨
<p>1. 大和村福祉事務所について</p> <p>2. スモモ出荷体制について</p>	<p>1) 開設1年を迎えた福祉事務所の村民に対するメリットはどのようなものがあったのか。</p> <p>2) 民生委員との協議に変化があったのか。生活苦にある村民に対し十分な対応ができているのか。</p> <p>1) 共同選果離脱から14年になるが、JAとの共販維持をしている。単独選果選択時点で村独自販売意欲であったが、これからもJAとの共販でいくのか。</p> <p>2) 一昨年頃から生産者の販売方向に変化が見られるが承知しているのか。 (外部業者の買い取り)</p>		